

水田たより 5月号

令和6年5月1日

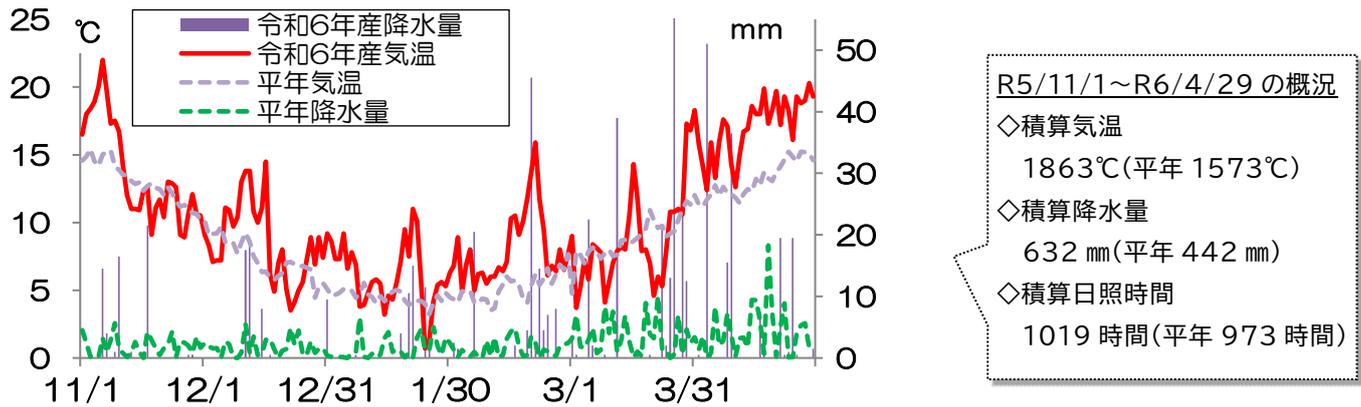
JA みえきた

桑名地域農業改良普及センター

麦 気象状況と生育状況

3月では気温が低かったものの、4月に入ってからは、気温は高く推移しており、今後生育が早く進むと考えられます。

○気象状況



○生育状況

11月上旬播種のほ場では、昨年と同様に出穂期が早く、成熟期も早くなると予想されます。一方、11月中旬播種のほ場は、昨年ほど生育は早くありませんが、5月末ごろに成熟期を迎えると予想されます。

地域	品種	播種日	出穂期		成熟期 (※予測)
			令和6年産	(令和5年産)	
桑名・木曾岬	小麦「さとのそら」	11/14	4/8	4/3	5/25
いなべ・東員	小麦「あやひかり」	11/2	4/1	3/31	5/21
	大麦「ファイバースノウ」	11/5	4/7	4/3	5/17

※三重県開発の「麦生育予測システム」による（4月22日時点）

麦 収穫作業

収穫の目安は水分量28%以下です。適期に収穫するようにしましょう。立毛中の水分低下は1日に2~3%程度ですが、その日の天候により大きく変動し、好天で風の強い日には、5%以上低下する場合があります。

適期は麦粒の色が黄褐色~褐色で、指の腹ではなかなかつぶせないが、爪では何とか割れる程度！

麦粒の水分	40%	30%	20%
収穫適期まで	-10日	-5日	0日(適期)
麦粒の色	緑がる	黄褐色	褐色
硬さ(指の腹で)	つぶせる	押しつぶせる	つぶせない
硬さ(爪の先で)	つぶせる	容易に割れる	何とか割れる
断面形状	柔らかい糊状	硬い糊状	固形状

水稻

中干しの時期に注意

年々気温が上昇傾向にあり、分けつが過剰になりやすくなっています。

中干し開始のタイミングは「コシヒカリ」の場合、①50株移植で茎数20本/株、②60株移植で茎数16~17本/株が目安です。実際の茎数を判断して、適期に中干しを実施しましょう。

水稻

ケイ酸資材を施用しましょう

気温の上昇は白未熟粒の発生にもつながっています。白未熟粒の発生を軽減させるためには、ケイ酸資材の施用が有効です。その他にも茎葉が強くなることで、様々な効果が期待できます。

○報告されている効果

- ・茎が頑丈に→稲が倒れにくく！
- ・茎が直立して光を受け取りやすく→光合成が活発に！
- ・病原菌が侵入しにくくなる→いもち病に強く！

○施用量

ケイ酸含量で10kg/10a程度が目安です。詳細についてはラベルの記載内容をご確認ください。

○施用時期

ケイ酸は生育後半に多く吸収されるので、中干し前後が適期です。
(中干し前後以外の時期でも施用できます)

水稻

ヒレタゴボウ対策

県内では難防除雑草であるヒレタゴボウが多発しており、桑名管内では特に発生が多く見られます。近年では元々多発していた沿岸地域に限らず、発生が少なかった中山間地域においても発生が増加しています。

中干し前後のヒレタゴボウ



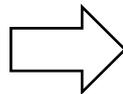
小さくて
見つけづらい…

生育が進んだヒレタゴボウ



気付いたとき
には大きく！

初中期一発剤の効果が薄くなる
中干し前後から発生



大きくなると除草剤が効きにくくなる

多発すると減収し、収穫の邪魔になります。以下の点に注意して防除しましょう

○ほ場の均平を取る

ほ場の均平が取れていないと、凸の部分が露出し、除草剤の効果が薄れます。

○中干し前後に中後期除草剤を処理

除草剤を効かせられるよう、ヒレタゴボウが小さいうちに処理！



使用時期に注意！ 必ず商品ラベルを確認しましょう

過去の水田たよりは桑名地域農業改良普及センターのホームページで
ご確認いただけます。「桑名普及」でご検索ください。



桑名普及

検索